

# 市財政を家計に置き換えたら…

## Part1

加西市では、平成15年に財政再建推進計画を策定し、財政の健全化に取り組んでいるところです。今月号から数回シリーズで、実際の市財政がどうなっているのかを私たちの家計に置き換え、財政の内容をお知らせしていきます。

### “加西家”の紹介

加西家は、お父さんとお母さんを中心に、子ども3人とおじいさん、おばあさんの7人家族です。お兄さん・弟・お姉さん・おじいさんはそれぞれ別で住んでいますが、おじいさん以外は仕送りを受けています。また、お父さん・お母さんは、おばあさんの病院通院費・入院費の不足分の面倒をみています。



**お父さん**(普通会計)  
せっせと働いているが、不況のため最近給料が減っている中堅サラリーマン。



**お母さん**(普通会計)  
実家が経営している店でパートとして働き、家計を助けている。



**おじいさん**(農業共済事業会計)  
小さな牧場を個人事業として行っている。



**おばあさん**(特別会計)  
病弱・高齢なため、最近医療費・入院費等にお金がかかっている。



**お姉さん**(病院事業会計)  
看護師になるため親元を離れて学校に通っている。



**お兄さん**(水道事業会計)  
小さいながら自分の店を堅実に経営している。



**弟**(下水道事業会計)  
親元を離れてアルバイトをしながら大学に通う学生。

普通会計とは、一般会計・有線放送電話特別会計・公園墓地整備事業特別会計の合計です。また、特別会計(おばあさん)は国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、老人保健医療特別会計の合計です。

加西市の17年度普通会計の収入・支出の状況について、一般家庭の家計に合わせお父さんの給料が年収500万円程度になるように、財政規模を2400分の1に縮小しました。

## ローン残高が減った!!

17年度の“加西家”のお父さんの年収は506万円でした。このほかにお母さんのパート収入125万円と、臨時収入85万円がありましたが、この中から生活していくために必要な食費などの消費支出383万円、家具・家電などの購入や車庫の整備に71万円を使いました。しかし、この上に、子どもなどへの仕送り140万円、銀行ローンの返済102万円をしようとするとお金が足りません。毎月では4.8万円、年間になると58万円不足するので、貯金を取り崩して3万円使い、壊れた家電製品の買い替えや車庫の整備のために新たに55万円のローンを組みました。

貯金は、支出を頑張って抑えたこともあって昨年に比べて少し増えました。また、銀行ローン残高は、平成15年度以降計画的に借入を少なくしているため昨年と比べ27万円減りました。

## 10年前と比べてみると!?

17年度の“加西家”の家計を、10年前と比べてみました。17年度は、給料で47万円程度伸びているものの副収入と臨時収入合わせて86万円減っているため収入全体で50万円(6%)の減となっています。支出の中で一番占める割合が大きい消費支出(財産として残らない支出)は19万円(5%)減り、財産形成支出に至っては146万円(67%)も減っています。一般的な生活水準を保つために、食費や教育費を切り詰めることは限界があるため、車や家具を買ったり車庫を整備したりする支出(財産として残る支